

特別講演会のお知らせ

演題：「Notch シグナルに必要な小胞体機能

～Notch の糖鎖修飾とフォールディング～」

演者：松野 健治 先生

(大阪大学大学院理学研究科生物科学専攻 教授)

日時：平成26年6月24日(火) 16:00～17:30

場所：北海道大学薬学部1階 臨床薬学講義室

主催：北海道大学大学院薬学研究院 日本薬学会北海道支部

共催：日本生化学会北海道支部

北海道分子生物学会

概 要

Notch 受容体 (Notch) は、細胞と細胞の直接的な接触を介した細胞間シグナル伝達 (Notch シグナル) で働き、細胞運命決定や形態形成などで多彩な機能をはたしている。Notch とそのリガンドは、ともに 1 回膜貫通型タンパク質である。隣接する細胞表面のリガンドが、Notch の細胞外ドメインに結合することで、Notch のエクストドメイン・シェディングが起る。その結果、Notch は、 γ -Secretase によって膜貫通ドメインで切断され、遊離の Notch 細胞内ドメイン (NICD) が産生される。NICD は核内に移行し、転写複合体を形成して標的遺伝子の転写を活性化する。

一方、Notch シグナルが正常に活性化されるには、Notch とリガンドの成熟や細胞内輸送が必要であることがわかってきた。我々は、小胞体で起こる Notch の O-型糖鎖修飾やフォールディングが、Notch シグナルの正常な活性化に必要であることを示す結果を得ている。本セミナーでは、これらに関する最新の成果について議論したい。

連絡先：北海道大学大学院薬学研究院 神経科学研究室

鈴木 利治

(TEL : 011-706-3250)